

## 第4章 自転車利用に関する課題

### (1) 自転車利用に関する課題

新潟市の自転車利用の現状を踏まえ、以下に課題を整理する。

#### A：自転車走行空間の確保

- ・歩行者と自転車の事故が増加していることから、歩行者と自転車を分離するなど適正な走行空間を確保する必要がある。
- ・自転車走行空間の連続性が確保されていないことから、連続したネットワークの形成を図る必要がある。
- ・将来の開発計画等を踏まえたネットワークの形成を図る必要がある。



歩道内を錯綜する歩行者と自転車

#### B：利用者ニーズに応じた自転車等駐車場の整備

- ・都心部やJR周辺において自転車等駐車場が不足しており、放置自転車対策とあわせ自転車等駐車場を確保する必要がある。
- ・既存自転車等駐車場では、目的地から離れるほど利用者が少なくなることからニーズに応じた整備が必要である。
- ・新潟大学前駅や内野駅などでは自転車等駐車場の長期放置自転車が毎年発生しており、自転車を大切にすることが重要である。



新潟大学前駅の長期放置自転車

#### C：常態化する路上放置自転車の削減

- ・放置自転車撤去台数が横ばいのままであることから、放置自転車の効果的削減を図る必要がある。
- ・路上駐輪は歩行者や身体障がい者（車いす、視覚障がい者等）の通行の障がいになるだけでなく、街の景観も損ねることから、歩行者や周辺の景観に配慮した駐輪場を確保する必要がある。
- ・緊急時の避難路を確保するために、路上駐輪を削減する必要がある。



万代地区の放置自転車

#### D：ルール・マナーの遵守意識の向上

- ・自転車利用のルール・マナーが徹底されていない状況であり、歩行者や自転車の安全性確保に向けた自転車の走行に関する適正利用を促進する必要がある。
- ・新潟市では一人当たりの自動車CO<sub>2</sub>排出量が高いため、CO<sub>2</sub>を排出しない環境にやさしい交通手段である自転車利用への転換を目指す必要がある。



商店街を走行する自転車